

みずほCustomer Desk Report 2016/12/06 号(As of 2016/12/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	113.78
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.55	1.0568	119.95	1.0149	1.2670	0.7439
SYD-NY High	114.77	1.0797	123.18	1.0184	1.2745	0.7498
SYD-NY Low	112.87	1.0505	118.70	1.0050	1.2630	0.7414
NY 5:00 PM	113.84	1.0764	122.58	1.0067	1.2728	0.7473
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.115/12.665	△25RR	0.528	Yen Call Over		
NY DOW	19,216.24	45.82	債券市場	日本2年債	-0.1790	0.1bp
NASDAQ	5,308.89	53.24		日本10年債	0.0410	0.1bp
S&P	2,204.71	12.76		米国2年債	1.1198	2.4bp
日経平均	18,274.99	▲151.09		米国5年債	1.8456	2.5bp
TOPIX	1,466.96	▲11.02		米国10年債	2.3941	1.1bp
シカゴ日経先物	18,440	35.00		独10年債	0.3330	5.2bp
ロンドンFT	6,746.83	16.11		英10年債	1.4030	2.3bp
DAX	10,684.83	171.48		豪10年債	2.7930	▲6.9bp
ハンセン指数	22,505.55	▲59.27	為替市況	USD/CNH	6.8656	▲0.0048
上海総合	3,204.71	▲39.13		ドルインデックス	100.14	▲0.63
USDJPY 3M Vol	12.31	▲0.20%	商品市況	CRB指数	193.475	1.78
USDJPY 6M Vol	12.48	▲0.13%		NY金	1,176.50	▲1.30
EURJPY 3M Vol	11.32	▲0.77%		WTI	51.790	0.11
EURJPY 6M Vol	12.99	▲0.29%		Dubai Spot	51.56	1.26

東京	週明けシドニー時間、イタリアで行われた憲法改正の是非を問う国民投票の出口調査で改正反対派が優勢と伝わったことでユーロが下落し、ユーロ円が下げ幅を拡大する中、ドル円は安値112.87をつける。その後開票が進み改正反対票が賛成票を上回る見通しとなったことでレンツィ伊首相が辞意を表明したものの、もはやドル円相場の動因とはならなかった。寧ろ、当該結果は織り込み済みだったとの見方も出る中、113.55レベルまで反発して東京時間オープン。五・十日ということである需の70-等が意識されたこともあり、ドル円は113円台後半まで上値を伸ばした。午後に入ると、日経平均株価が下落幅を拡大させたことでドル円の上値は抑えられ、113円台半ばでレンジ推移。結局ドル円は113.54レベルと東京時間オープンと変わらない水準で海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.54レベルでオープン。先週発表の米11月雇用統計では、前月分の雇用者数が下方修正(16.1万人→14.2万人)されたが、週末を挟み売りも一服。結局、利上げ観測を揺るがすほどの結果ではなかったと整理され、米金利が上昇し、ドル円も114円台半ばまで連れ高となった。結局、ドル円は114.28レベルでNYに渡った。ロンドンでは、1.2691でオープン。英最高裁が、EU離脱の議会承認めぐる審議を開始。ブックメーカーのオッズでは75%の確率で議会承認が必要と判決されることが見込まれている他、週末にはジョンソン外相が単一市場維持のためのEU予算拠出を肯定する等、態度を軟化させていることからソフトブレグジットを期待する楽観ムードも広がり、1.27台を回復。結局、1.2720レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0558レベルでオープン。イタリア国民投票で憲法改正反対票が賛成票を上回ったことでレンツィ首相が辞意を示し、イタリア株が2%安で始まるも、すぐにプラス圏に浮上。想定されたほど市場では大きな混乱とはならなかったことから、ユーロドルは1.0730まで上昇し、1.0693レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルヴリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は114.28レベルでNYオープン。朝方は堅調な欧州株式市場を受けてリスクセンチメントが改善したことや、ユーロのショートの買いにユーロ円が上昇する動きを受けてドル円は高値の114.77まで上昇。しかし、ダウ・ニューヨーク連銀総裁から「債券市場は調整に入ってもおかしくない」との発言があったことや、先週高値の114.83を上げることができなかったことでドル円は下落。ユーロショートの買いが継続したこともあり、ドル円はストップを巻き込みながら113.17まで下落。それでも米長期金利の反発や、プラス圏で閉場したタリを横目にこの水準では下げ渋り、113.84レベルまで値を戻してクロスした。一方ユーロドルはイタリア投票結果を受けて安値の1.0505まで下落。しかし、1.05台を割れなかったことから逆に買い戻され1.0693レベルでNYオープン。先週はイベント前に市場がユーロショートの傾いていたことや、イタリアを筆頭に欧州各国の長期利回りが上昇すると、ユーロドルは堅調に推移し高値1.0797まで上昇し、1.0764レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
12月5日	10:45	中	Caixin PMI(サービス業/総合)	11月	53.1/52.9	52.4/52.9
	12:45		黒田日銀総裁講演	-	-	-
	17:50	仏	マークイットPMI・確報(サービス業/総合)	11月	51.6/51.4	52.6/52.3
	17:55	独	マークイットPMI・確報(サービス業/総合)	11月	55.1/55.0	55.0/54.9
	18:30	米	マークイットPMI・確報(サービス業/総合)	11月	54.6/54.9	54.9/-
	19:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	10月	1.1%/2.4%	0.8%/1.7%
12月6日	0:00	米	ISM非製造業景況指数	11月	57.2	55.5

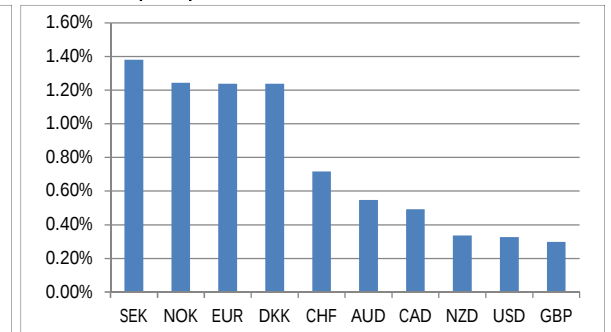
【本日の予定】

Date			Event		予想	前回
12月6日	12:30	豪	RBAキャッシュレート	-	1.50%	1.50%
	16:00	独	製造業受注(前月比/前年比)	10月	0.6%/1.6%	-0.6%/2.6%
	19:00	欧	GDP・確報(前期比/前年比)	3Q	0.3%/1.6%	0.3%/1.6%
	22:30	米	貿易収支	10月	-\$42.0B	-\$36.4B
12月7日	0:00	米	製造業受注指数	10月	2.6%	0.3%
	0:00	米	耐久財受注・確報(前月比)	10月	3.4%	4.8%

【ドル円相場】



【対円為替率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00 - 114.70	1.0680 - 1.0830	121.00 - 123.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は往って来いの展開。注目のイタリア国民投票では改憲否決、レンツィ首相辞任との結果となったことなどを背景に欧州長期金利が上昇。米11月ISM非製造業景況感指数が市場予想を上回る良好な結果となったことも相俟って米長期金利も連れ高となると、ドル円は一時114円台後半まで上伸。その後は、ドル買いが一服したことや米長期金利が上げ幅を戻したことなどからドル円も一時113円台前半まで値を下げ、結局113円台後半で本日を迎えた。本日のドル円は揉み合う展開を予想。イタリア国民投票というイベントを消化し、本日は主だった経済指標の発表も予定しておらず、やや材料に乏しい展開となりそうだ。